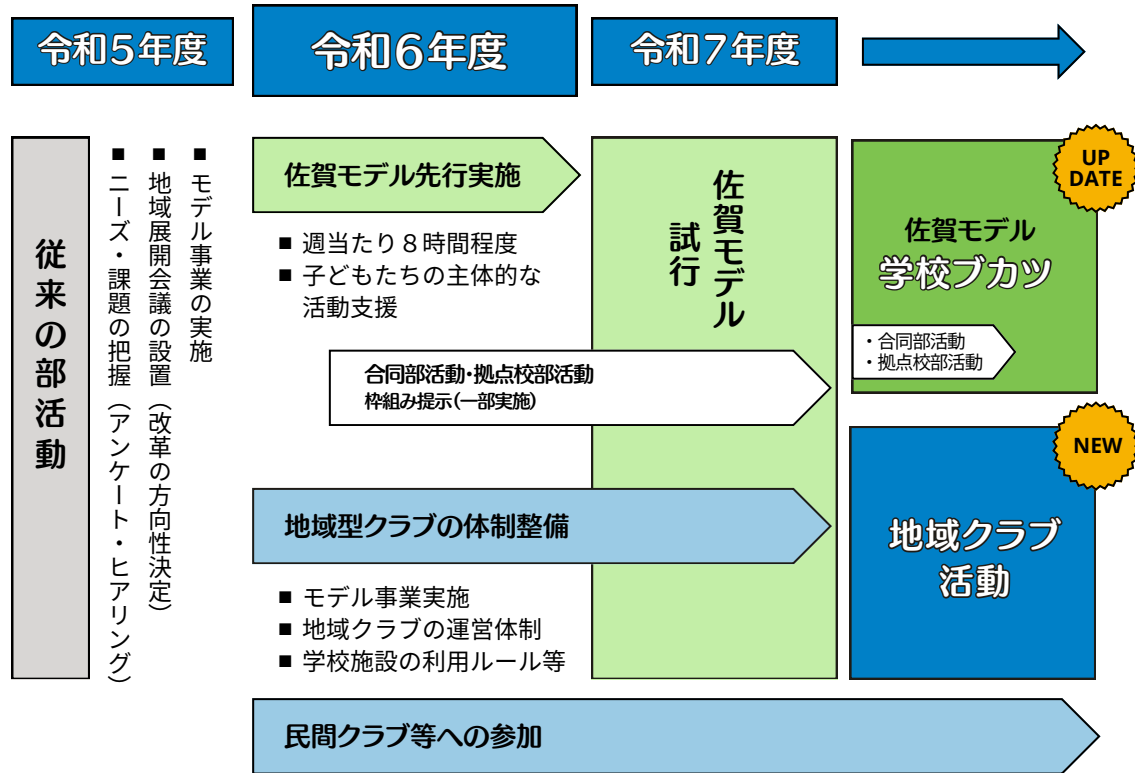
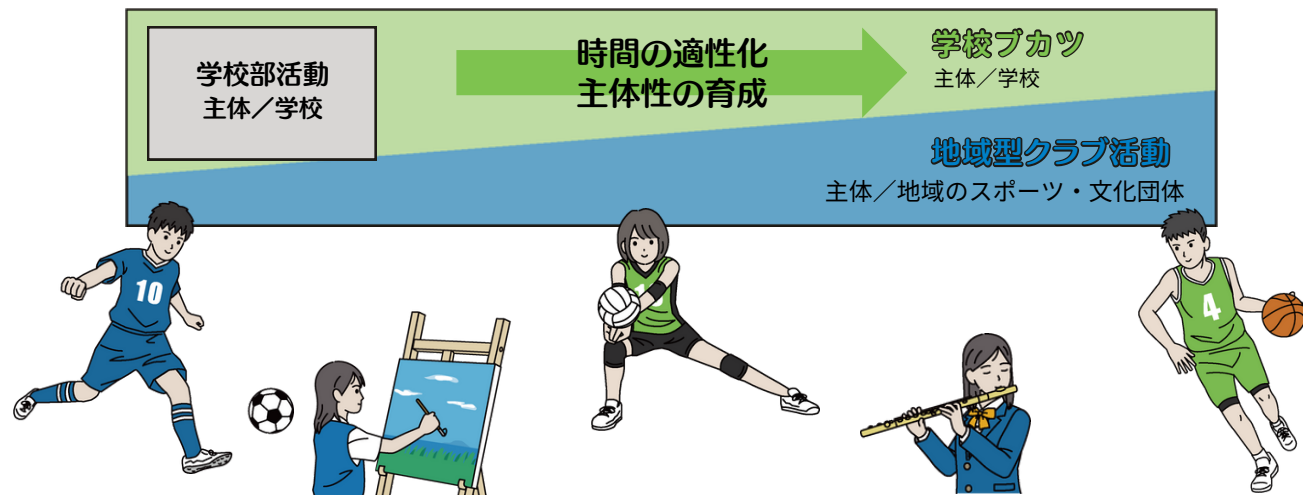


部活動地域展開スケジュール



佐賀モデルは、令和6年度より、市内4校（今後追加予定）にて実践がスタートしています。令和7年度は市内全中学校での試行を予定しております。



国及び佐賀市の検討状況はこちらから



部活動改革ポータルサイト (スポーツ庁)



佐賀市HP (部活動改革)



R5中学生アンケート詳細データ



R5中学生アンケート概要

問い合わせ先 | 佐賀市教育委員会教育総務課 TEL 0952-40-7352 MAIL kyoiku@city.saga.lg.jp

佐賀市の学校部活動が変わっていきます！

佐賀市の部活動地域展開

生徒が「より主体的に」
適切な時間で活動する
(週8時間程度)
新たなブカツに。



佐賀市の部活動地域展開のめざす姿

子どもたちのwell-beingの実現 **満足度UP**

健全で持続可能な「教育環境」「文化・スポーツ環境」に！

部活動のアップデート移行

「子どもたちが主体的に自己決定して取り組む場(ブカツ)」への転換

地域の受け皿拡充

地域とともに、子どもたちの多様な価値観、考え方に応えることができる選択肢の創出

佐賀市の部活動地域展開とは？



佐賀市の部活動地域展開における3つのポイント

1 学校部活動の適性化

これまで

- 活動時間／平日4日、土日のうち1日
- 指導者／主に教員
- 部費（保護者会）
- 志向の混在（競技力向上／楽しく）

2 地域型クラブの立ち上げ支援

佐賀市立学校における部活動の受け皿として、地域指導者や兼職兼業の許可を得た教員等が指導するクラブです。適正化された学校ブカツに準じた活動であることや学校施設利用に関する要件等を検討するとともに、総合型地域スポーツクラブの立ち上げ支援など、地域の受け皿づくりをサポートします。

3 多様な選択肢の確保

中学生それぞれが自らの志向に応じて活動を選択し参加することができる環境を構築するため、部活動以外の活動フィールド（クラブ・スクール、体験イベント情報）を情報提供する準備を進めています。



市内スポーツ
クラブ一覧



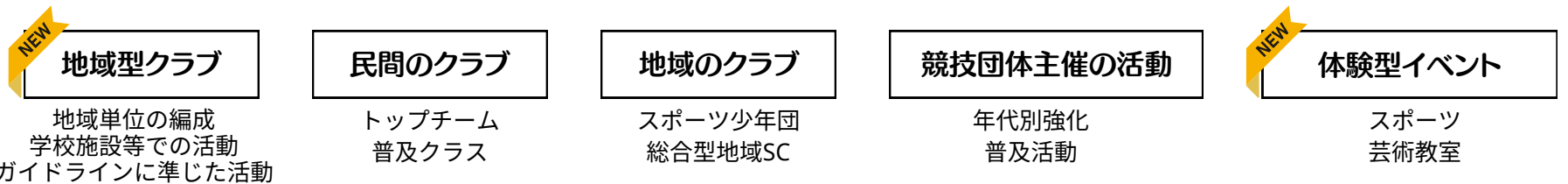
市文化振興財団
イベント情報

佐賀市公式スーパーアプリ

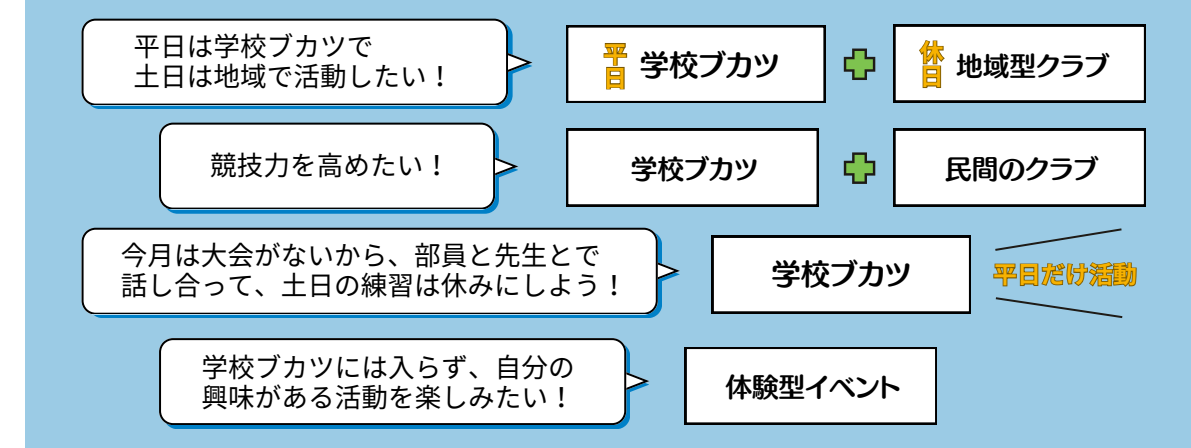
大学の公開講座やスポーツ・文化関係のイベント情報を発信中！

SAGA
CITY

学校部活動以外の選択肢の拡充へ



生徒のニーズに応じた多様な組み合わせが可能に！



学校部活動や地域クラブ活動は、子どもたちが自発的に参加するものなので、参加や組み合わせは自由です。いずれの場合も、成長期にある子どもたちが運動、食事及び睡眠バランスのとれた生活を送ることができるように配慮する必要があります。

これから

佐賀モデル
「学校ブカツ」

UP
DATE

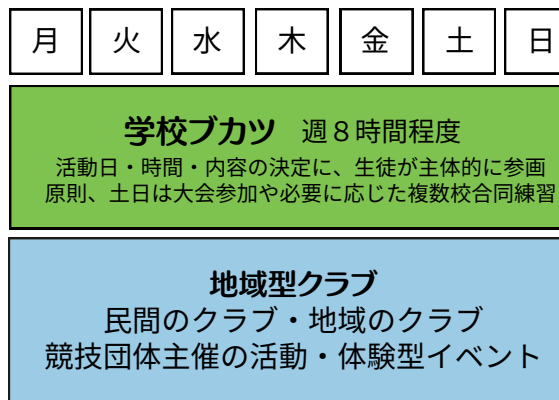
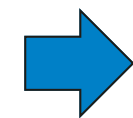
生徒が「主体的に行い」「適切な時間」で活動

週当たり8時間程度の活動
練習日数・練習時間や練習内容、休みの日等を主体的に決定。

チーム顧問制の導入(平日)

複数の教員が輪番制で生徒の主体的な活動を見守ります。

複数校合同での活動(主に休日)



佐賀市の部活動改革について

国は少子化や教員の働き方改革を背景に、休日の部活動を段階的に地域移行し、地域の指導者を中心に活動をするスタイルへ転換する方針を示しています。

佐賀市は、今の部活動の仕組みのまま休日の地域移行をめざすのではなく、平日を含めた現在の部活動自体の見直しと、地域の受け皿づくりを並行して進めることで、中学生のみなさんがそれぞれの関心や志向に応じて、部活動・クラブ・スクールなど様々な選択肢の中から自分で選んで参加できる「地域展開」をめざしています。



部活動に関するアンケート結果

生徒の声から、現在の部活動の「質」と「量」の課題が浮き彫りに。

- 約3割の生徒が部活動の活動量が多いと感じている。
- 活動量が多い部活動では、部員の活動満足度が下がる傾向にある。
- 部活動と習い事による多忙化（週平均19時間）
- 部活動が減ったら「自由に過ごしたい」という意見が上位にある一方、「自主練習したい」という意見も26%を占めた。
- 部活動の内容について多くの生徒が「もっと自分たちで決めたい」と考えている。
- 学校部活動にない種目のニーズ（ダンス、eスポーツ、釣り、バドミントンなど）

※令和5年9月に佐賀市内の中学生（18校、4,561名）にアンケートを実施